

1 4. 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

ア. 医療受給者証交付件数

平成31年3月31日現在

疾患名	交付件数	疾患名	交付件数
潰瘍性大腸炎	256	I g G 4 関連疾患	-
パーキンソン病	236	封入体筋炎	-
全身性エリテマトーデス	90	ミトコンドリア病	-
クローン病	71	結節性多発動脈炎	-
後縦靭帯骨化症	54	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	-
脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く。)	51	バージャー病	-
全身性強皮症	48	肺動脈性肺高血圧症	-
原発性胆汁性胆管炎	45	シャルコー・マリー・トゥース病	-
特発性拡張型心筋症	40	原発性抗リン脂質抗体症候群	-
特発性血小板減少性紫斑病	38	成人スチル病	-
網膜色素変性症	38	原発性免疫不全症候群	-
広範脊柱管狭窄症	36	先天性副腎皮質酵素欠損症	-
好酸球性副鼻腔炎	35	リンパ管筋腫症	-
重症筋無力症	34	好酸球性消化管疾患	-
皮膚筋炎/多発性筋炎	32	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
IgA腎症	30	全身型若年性特発性関節炎	-
下垂体前葉機能低下症	26	前頭側頭葉変性症	-
筋萎縮性側索硬化症	25	マルファン症候群	-
多発性嚢胞腎	25	紫斑病性腎炎	-
一次性ネフローゼ症候群	25	脊髄性筋萎縮症	-
多発性硬化症/視神経脊髄炎	24	クローウ・深瀬症候群	-
ベーチェット病	24	遠位型ミオパチー	-
顕微鏡的多発血管炎	20	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	-
多系統萎縮症	19	中毒性表皮壊死症	-
特発性間質性肺炎	19	再発性多発軟骨炎	-
再生不良性貧血	18	自己免疫性溶血性貧血	-
特発性大腿骨頭壊死症	18	発作性夜間ヘモグロビン尿症	-
サルコイドーシス	17	血栓性血小板減少性紫斑病	-
進行性核上性麻痺	16	クッシング病	-
もやもや病	14	アジソン病	-
シェーグレン症候群	13	原発性硬化性胆管炎	-
全身性アミロイドーシス	11	脊髄髄膜瘤	-
混合性結合組織病	11	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-
自己免疫性肝炎	11	22q11.2欠失症候群	-
下垂体性ADH分泌異常症	10	単心室症	-
類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	10	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-
神経線維腫症	-	ファロー四徴症	-
大脳皮質基底核変性症	-	抗糸球体基底膜腎炎	-
悪性関節リウマチ	-	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
肥大型心筋症	-	副甲状腺機能低下症	-
黄色靭帯骨化症	-	偽性副甲状腺機能低下症	-
筋ジストロフィー	-	フェニルケトン尿症	-
高安静脈炎	-	軟骨無形成症	-
ハンチントン病	-	後天性赤芽球病	-
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	-	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
天疱瘡	-	非特異性多発性小腸潰瘍症	-
多発血管炎性肉芽腫症	-	胆道閉鎖症	-
強直性脊椎炎	-	レーベル遺伝性視神経症	-
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	-	特発性多中心性キャッスルマン病	-
間質性膀胱炎（ハンナ型）	-	合計	1,670
下垂体性PRL分泌亢進症	-		
慢性血栓性肺高血圧症	-		

※医療受給者証の交付日が平成31年3月31日までの方を計上
 ※交付件数10人未満については「-」で表示

イ. 性・年齢別医療受給者証交付件数

	合計	性別		年齢階級										(再掲)
		男	女	0 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 29	30 ~ 39	40 ~ 49	50 ~ 59	60 ~ 69	70歳 以上	65歳 以上		
平成30年度受給者証交付件数	1,670	782	888	-	11	88	214	277	353	584	782			

ウ. 市町別医療受給者証交付件数

	管内計	近江八幡市	東近江市	日野町	竜王町
平成31年3月31日現在	1,670	629	807	138	96

(2) 特定疾患医療受給者証交付件数

疾患名	交付件数
スモソ	2
難治性肝炎のうち劇症肝炎	

※医療受給者証の交付日が平成31年3月31日までの方を計上

(3) 難病医療講演会・相談会・交流会開催状況

来所者（本人との関係）内訳および相談内容内訳

開催時期	疾患別	来所者内訳				相談内容内訳			
		本人	家族	関係者	計	医療	保健福祉	栄養	リハビリ
平成30年9月28日	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 医療講演会・交流会	7	8	15	30	/	/	/	/
	計	7	8	15	30	-	-	-	-

(4) パーキンソン病友の会育成事業（のびのび友の会）

パーキンソン病患者や介護者が交流し、仲間づくりとともに、悪化防止の方法や、効果的な介護方法の修得を図る。

開催状況

()内は家族の参加人数（再掲）

項目	年月	H30年 5月	8月	10月	11月	12月	H31年 3月	計
参加者数		12 (2)	20 (2)	15 (5)	13 (3)	22 (6)	11 (2)	93 (20)
内 容		・リハビリテーション（日常生活の注意点、家庭でできる体操など） ・スポーツ吹き矢、音楽療法 ・交流会						

(5) 面接相談・訪問相談

実人員	面接・訪問・電話相談			実人員	(再掲) 面接相談 (延数)										(再掲) 訪問指導		電話 相談 延人員
	(再掲) 新規相談経路				相談内容										実人員	延人員	
	市 町	医療機関	その他		申請等 の相談	医療 治療	家庭 看護	福祉 制度	就労	就学	食事 栄養	歯科	その他	計			
176	-	1	57	139	30	54	24	34	25	4	9	1	84	265	23	39	240